



春の大型連休 ～ どんな時間を創っていくか ～



グリットを発揮しよう！

「グリット」とは、やり抜く力のこと。「歯を食いしばること。根性」とも訳されます。これを否定した言葉は「グリットレス」。これは、「意気地なし。度胸がないさま」という意味。ルーティーンの練習や仕事に加えて、「あともうちょっと。もうちょっと頑張ってみる」と、自分の限界ぎりぎりの練習、仕事を自らに課し、時間をかけて粘り強く取り組む姿勢を「グリット」と言うのです。このような姿勢をもった人が、おそらく時代をリードしていくのでしょうか。いつの時代であっても、社会を変え、人々に幸せを与えることのできた人たちには、決まってこの「グリット」がありました。逆に、どんなに才能に恵まれていても、知能指数が高くとも、それらの資質・能力を十分に伸ばしきれずに埋もれていった人たちの何と多いことでしょうか。

本当にこのままでいいの？

先日、今年度第1回のスタディーサポートの結果を見せてもらいました。学習状況リサーチの中で、ちょっと気になったのが皆さんの家庭学習時間です。学年平均を見ると、4年生で平日1時間21分、休日2時間1分。5年生は平日1時間37分、休日2時間31分。6年生は平日2時間16分、休日3時間27分。あくまでも平均ですけど、かなり少ないですね。皆さんは、家庭での時間の使い方に関して、**3点固定**という言葉を知っていますか。3点とは、**起床時刻、家庭学習開始時刻、就寝時刻**のこと。これらの時刻を毎日一定にすることで、学習において「グリット」を発揮する環境が整えられるのです。意識を変えるには、まず環境から変える。自分の部屋や机の上から、学習に関係ない物を一掃することも大事。この10日間の連休で、安定した生活リズムとすっきりとした生活環境を作り上げる。これを一つの目標にしてみましょう。

SNS上のコミュニケーションって、どうなの？

LINEやメールのやり取りが元で、人間関係がぎくしゃくしてしまったなどという経験はありませんか。以下はLINEでのやり取りです。

- A 今度いっしょに遊ぼうよ。何しようか？
- B 何でもいい。
- A ぶーん。

Aさんは、Bさんの答えを不快に感じました。「せっかく誘ったのに、なんて素っ気ない返事なの」と。ところが、Bさんの気持ちは全くの逆で、「あなたとだったら、何をしても楽しい」という意味で「何でもいい」と答えたのです。AさんとBさんとの間には、この時以来隙間風が吹くようになったのです。短文でのコミュニケーションには、いつもこのような危険が潜んでいることを自覚してください。

